

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		福岡城西学園チロルⅡ				公表日	令和7年3月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		来所人数や課題内容により利用スペースを工夫し、それぞれに合った支援ができる体制を取っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基礎人数を満たすように人員配置をしている。非常勤職員を確保している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	視覚的情報が確保できるような環境設定を行っている。	視覚的な情報が足りていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	個室が必要な児童に対しては相談室を提供している。	集団活動時には少し狭いと感じる。学習スペースフリースペースが独立していない。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンや複数活動が苦手な児童には相談室を提供している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		PDCAサイクルについて職員周知を行い、実施するよう促している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向け評価表の記入をしていただいた。結果を踏まえ可能な限り反映している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	朝礼で、その日の児童の現状様子を共有し共通理解を図っている。	朝礼での児童についての共有はされているが改善に繋がるまで出来ているとは思えない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		実施されていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	可能な範囲で研修受講ができています。	外部研修案内の閲覧はされているが受講できていない。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントを実施、保護者の意見を聞き取り放課後等デイサービス計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		放課後等デイサービス計画は支援に関わる職員の意見を参考に児童発達支援管理責任者が作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		放課後等デイサービス計画は職員共有されている。計画に沿うように支援の工夫をしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	日々の行動観察からのアセスメントは出ている。	標準化されたツールを用いたアセスメントは出来ていない、今後、実施したい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容の設定もされている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	支援者で意見を出し合いプログラム作成している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節に応じた活動をするなど固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		学習がメインになり集団活動の時間が少なくなることがあるので気を付けたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	朝礼で支援内容の共有がされている。	朝礼で支援内容の共有はあるが、児童次第になることがあり臨機の対応になることがある。役割分担ができていない時がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	終礼ではないが、その日あったことの共通確認を行っている。	緊急性があることは、その日に共有し対応をしているが、通常は翌日の朝礼で共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1		支援記録をとっているが、検証・改善につなげる記録になっていないこともある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		時期が遅れがちになっているので改善する必要がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		こどもの自己選択、自己決定を育てる支援を行っている。	
	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		職員の意見を聞き児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		地域の保健、学校関係との連携が現状メインになっているが、必要に王子医療等との連携も図って行きたい。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校との情報共有、連絡調整は行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5		利用児童が高校生と中学生なので就学前の施設とは連携していない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		開所1年目で今回1名障がい福祉サービス事業所へ移行予定、契約後に情報共有を実施する予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		今年度は連携、研修を実施していないので今後は機会を設けるようにしたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		交流することがなかったので、交流機会を作りたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		積極的な参加はできていないので、今後は参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳やSNSでやりとりをしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		今年度は研修を実施することができていないので、次年度は実施する。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		面談で、児童や家族の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		直接、説明を行う場合と、連絡帳やお手紙で内容説明する場合がある、その上で同意いただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	2	面談、電話、LINE等で行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者交流会、親子レクリエーション、親子レクリエーション時は兄弟姉妹の参加もあり交流の機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情があった場合には、速やかに対応できるような体制でいる。今のところ苦情事案は起きていない。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月通信、SNS、HPで活動内容や行事予定のお知らせをしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		児童には、アセスメントシートで伝えやすい意思疎通の手段の記載欄を設け、それに沿った意思疎通を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		文化祭を開催した。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		防災訓練を実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	入所時の面談等で服薬状況やてんかん発作等は聞き取りを行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食物アレルギーのある児童は今はいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	様々のことを想定をし、安全管理を行って支援している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		家族への周知はできていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		個々での対応で共通理解できていないこともあったので、次年度からは共有をしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		外部研修を受け適切に対応している。今年度、研修を受けていない職員は本年度に受講する。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	身体拘束を行う条件の確認、個別支援計画への記載の研修を受けている。	個別支援計画書への記載をしていないので検討したい。	